



至誠通天

武雄市長 樋渡啓祐

新年、あけましておめでとうございます。

* 昨年のこと

昨年は、3月に1市2町による人口5万2千人の新・武雄市の誕生、4月には市長・市議会議員選挙における新・武雄市政のスタート。

直ちに、県下でさきがけとなる副市長制の導入。5月から市長と語る会の開始。10月には、国道498号線バイパス、12月には、国道35号線（西谷峠）問題に一定の目途をつけたこと。そして、いじめ問題に関する「子どもと市長と語る会」を開始。また、他にもさまざまことが頭をよぎります。

市民活動の活発化に伴い、新聞・テレビに連日報道されることとなり、一気に市外、県外から「タケオ？」から「武雄！」と認識していただける方が増えたものと思います。

昨年、私は文字通り、ニシヘヒガシへ駆け巡りました。これができたのも、市民の皆さんが私の背中を後押ししていただいたおかげです。ありがとうございます。

* 新幹線のこと

さて、今年の武雄市にとって、最大のテーマは「新幹線」です。昨年11月、嬉野市で開催された新幹線総決起大会には、佐賀・長崎両県知事臨席の下、1600名の武雄を含む地域住民の皆様にお集まりいただき、私はこんなメッセージを発しました。

30年前は赤バス・銀バスの時代、
10年前は車の時代、
そして今は新幹線の時代であります。

新幹線は道州制への架け橋、
新幹線は明日の子どもたちへの架け橋。

私が生まれた時代、サイモンとガーファンクルが「明日に架ける橋」を誕生させ、全世界の人たちを魅了したように、今、私たちこそが、明日に向かって橋

を架けなければなりません。

市民の皆さんとともに、新幹線の日でも早い開通に向けて、頑張ってくださいと思います。

* 佐賀のがばいばあちゃんのこと

次に、「佐賀のがばいばあちゃん」です。1月4日（木）21時からサガテレビで放送されます。市内25か所の見事な映像、そして、1000人に及ぶ市民エキストラの皆さんの姿がハイビジョンカメラで収められています。

ロケ中のフジテレビ天才カメラマン栗栖氏の言葉が忘れられることができません。武内馬場の夕景は、「北の国から」の富良野を超えたと思う。

ぜひ、当日のドラマをご期待いただき、そして、一人でも多くの国民の皆さんに「風格ある武雄」をご覧頂くために、「ドラマを見てね！」と声をかけていただければ幸いです。

* 至誠通天

武雄には、このように皆さんのおかげで明るい兆しが垣間見えてまいりました。しかし、我々の前には、夕張市も他人事ではないほどの巨額な借金、また、福祉を中心とするさまざまな課題が立ちはだかつております。

至誠通天（しせい・てんにしつづ）

孟子の「離婁上」にその意味するところがありますが、私は一所懸命努力・精進すれば、必ずその思いは天に通ずると、そう確信しております。

* ぬくもりのある元気な武雄市に向けて

終わりになりますが、本年は「佐賀のがばいばあちゃん」と「新幹線」を嚆矢として、ぬくもりのある元気な武雄市の創造を活気ある市議会とともに、市民皆さんとともに、築き上げる所存であります。

市民各位のご支援・ご理解をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康・ご多幸をお祈り申し上げます、私の新年冒頭挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

追記）ドラマ放映日翌日（5日）9時半以降に、フジテレビ【電話 03（55

31）1111】に番組のご感想・ご意見をお寄せください。